日本生活情報紙協会
〒104−0061
東京都中央区銀座7−4−17
電通銀座ビル4階
電話03-3289-0181
FAX03-3289-0183
http://www.jafna.or.jp
編集・発行人／野村 文昭

JAFNA正会員の発行部数はすべて一般社団法人日本ABC協会が認証した信頼性ある部数です。

JAFNA通信
Japan Free Newspapers Association

日本生活情報紙協会 広告倫理綱領
1.広告は、品位を重んじ、公序良俗に反するものであってはならない。
1.広告は、関係諸法規に反するものであってはならない。
1.広告は、虚偽並びに誇大な表現などにより、読者に不利益または事実誤認を与えるものであってはならない。

JAFNAの大学提携講座

初の試み「フリーペーパー制作・実践講座」東洋学園大、目白大で実施

日本生活情報紙協会では平成24年度の重点事業として、複数の大学と提携して「フリーペーパー講座」をスタートしている。その一環として、5月〜7月に東洋学園大、目白大、昭和女子大で計11回にわたる講座を終了した。今年度は初の試みとして「フリーペーパー制作・実践講座」を2大学で実施した。

東洋学園大学「フリーペーパー制作講座」、遠藤久憲さんの講演

JAFNAでは今年度、大学側の希望により、初の試みとして「制作・実践講座」を東洋学園大学と目白大学において実施した。東洋学園大学では現代経営学部学部長の井原久光教授のもと、5月14日から2回にわたって「フリーペーパー制作・実践講座」を、目白大学では社会学部メディア表現学科・三上義一教授（JAFNA個人会員）のもと、6月20日に「フリーマガジン制作・実践講座」を実施した。講師はいずれもサンケイリビング新聞社メディアプロデュース室制作部副部長の遠藤久憲さんと日本生活情報紙協会事務局長の久保まり子。それぞれ約30人の学生が出席した。

講座を終えた井原教授は「今回は実践を通してフリーペーパーという形に残るものができそうで、学生も得るものが多かったと思う」と感想を述べた。

従来通りの「フリーペーパー講座」は目白大学で6回（現代の社会6　第1回＝「フリーペーパー　プライダル・メディアの世界」サンケイリビング新聞社第2営業局長・滑川要さん、第2回＝「デジタルメディアとフリーペーパー」電通・電通総研メディアイノベーション研究部研究主幹・北原利行さん、第3回＝「リクルートと電通の共同戦略　『R25』創刊からこれまで」メディア・シェイカーズメディウム開発領域プロジェクトプロデューサー・高田了さん、第4回＝「わが社のメディア戦略『美少女図鑑』」テクスファーム代表取締役・近藤大輔さん。出版メディア論第1回＝「女性紙としてのフリーペーパー」サンケイリビング新聞社取締役・植田奈保子さん、第2回＝「ヘッドライン社の戦略とTOKYO HEADLINE」ヘッドライン代表取締役社長・一木広治さん）を実施し、毎回80人〜100人の学生が出席した。

講座を終えた三上教授は「ひと口にフリーペーパーといってもそれぞれスタンスやコンセプトが違い、学生は今回、多面的なフリーペーパーを見ることができた。特に美少女図鑑の近藤社長の強い主張と個性は、新たなビジネスモデルを示してくれた。モノを作る背後にはどう見せるかという哲学があることも学べたと思う」と感想を述べた。

昭和女子大学では人間社会学部現代教養学科・清水真准教授のもと2回にわたって実施し（第1回「フリーペーパーの編集と営業を知る①（編集編）」植田奈保子さん＝前出、第2回「同②（営業編）」滑川要さん＝前出）、約50人の学生が出席した。

昭和女子大学の学生は講義を終えて感想文を寄せ、「正直、フリーペーパーの利益ってどうやって出ているのだろう、赤字経営？って思ってましたが、広告で成り立ってるというのを聞いて、問題が解決してよかったです」「発行社は企業や政府などの実態調査もやっていると聞いて、信頼度の高い会社なのだと思った」「世の中で騒がれていることはテレビやネットで嫌でも情報が入ってくるので、紙メディアからはコアな情報や地域密着（地元トーク）や一般人や自分と同じような立場の人の生の声とかを得たいと思う」「フリーペーパーは"市場"を創るような切り口を考える、というのが印象に残った」などそれぞれの思いを綴った。

秋には早稲田大、東京経済大、帝京大、東洋学園大でも「フリーペーパー講座」を予定している。

2012.8.1. 発行　JAFNA 通信 1 面
※無断転載はご遠慮ください